

# PSIM Ver12

## インストールマニュアル

HASPキースタンドアロン版／HASPキーネットワーク版  
／ソフトキースタンドアロン版（レンタル版）

PSIMに関するご質問につきましては、下記をご参照ください。

**PSIM 用 FAQ サイト**

<https://mywayplus.zendesk.com/hc/ja/categories/115000270434-PSIM>

**PSIM サポート契約者専用ページ(ページ下部中央よりログイン)**

<https://www.myway.co.jp/products/psim/index.html>

本書の最後には 8. お問合せの前に という項目で、PSIM をご使用中にトラブルやエラーが発生した場合の基本的な確認方法について記載していますので、そちらもご確認ください。

## 前書き

本書は回路シミュレータPSIM(ピーシム)の初期設定方法を説明しています。

・インストール、アップデート方法について、HASPキースタンドアロン版、HASPキーネットワーク版、ソフトキースタンドアロン版(レンタル版)のライセンス形態別に説明しています。ご使用のライセンス形態に応じた箇所から読み進めてください。

・SmartCtrlのインストールを行う場合は、5. **SmartCtrlのインストール** も続けてお読みください。

・HASPキーネットワーク版でクライアントPCからネットワークライセンスの確認を行う場合は、

## 6. HASPネットワークライセンスの確認方法をご確認ください。

・ 連成シミュレーションを行うMagCoupler、MagCoupler-RT、SimCoupler、ModCoupler-VHDL、ModCoupler-Verilogモジュールを購入された場合は **7. アドオンオプションの設定方法** についてもご確認ください。

また、PSIMの使用方法については次表を参考に他のマニュアルを参照してください。

それぞれの**マニュアル**の最新版はMywayプラスのホームページ上からご覧いただけます (<https://www.myway.co.jp/products/psim/download/manual.html>)。

タイトル	概要
<a href="#">PSIM ユーザーズガイド</a>	下記に含まれる素子やPSIMの基本的な使用方法を説明しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PSIM Professional</li> <li>・ Thermal Module</li> <li>・ Motor Drive Module</li> <li>・ MagCoupler Module</li> <li>・ MagCoupler-RT Module</li> <li>・ Renewable Energy Module</li> <li>・ Digital Control Module</li> <li>・ SimCoupler Module</li> <li>・ HEV Design Suite</li> <li>・ Motor Control Design Suite</li> </ul>
<a href="#">SimCoder ユーザーズガイド</a>	SimCoder Moduleに含まれる素子や各ターゲット専用の素子、その使用方法を説明しています。
<a href="#">SmartCtrlマニュアル</a>	SmartCtrl の画面構成や基本操作、サンプルを用いた使用方法を説明しています。
<a href="#">ModCoupler-VHDL ユーザーズガイド</a>	ModCoupler-VHDL Moduleのブロック構成やコンパイル、シミュレーションの方法について説明しています。
<a href="#">ModCoupler-Verilog ユーザーズガイド</a>	ModCoupler-Verilog Moduleのブロック構成やコンパイル、シミュレーションの方法について説明しています。
<a href="#">SPICEマニュアル</a>	SPICE モジュールの使用法と、SPICE 解析、素子、モデルに必要な情報について説明をしています。
<a href="#">スクリプト機能マニュアル</a>	スクリプトツールの関数定義と使用方法について説明しています。

[PILS対応アプリケーションパッケージ取扱説明書](#)

コントローラ部に PE-Expert4を使用し、プラント部に永久磁石同期モータ (PMSM) をモデル化した PSIM 上の回路を使用したPILSについて説明しています。

<b>前書き</b> .....	<b>2</b>
<b>1. HASP キースタンドアロン版</b> .....	<b>6</b>
1.1 事前準備 .....	7
1.2 HASP キーのアップデート .....	8
1.3 ソフトウェアのインストール .....	11
<b>2. HASP キーネットワーク版</b> .....	<b>13</b>
2.1 事前準備 .....	14
2.2 HASP キーのアップデート .....	15
2.3 サーバのセットアップ .....	18
2.4 ソフトウェアのインストール .....	20
<b>3. ソフトキースタンドアロン版（レンタル版）</b> .....	<b>22</b>
3.1 事前準備 .....	22
3.2 ソフトウェアのインストール .....	23
<b>4. 最新版ソフトウェアの入手</b> .....	<b>25</b>
4.1 最新版ソフトウェアの入手方法 .....	25
<b>5. SmartCtrl のインストール</b> .....	<b>27</b>
<b>6. HASP ネットワークライセンスの確認方法</b> .....	<b>31</b>
<b>7. アドオンオプションの設定方法</b> .....	<b>32</b>
7.1 MagCoupler および MagCoupler-RT の設定方法 .....	32
7.2 SimCoupler の設定方法 .....	33
7.3 ModCoupler-VHDL および ModCoupler-Verilog の設定方法 .....	34
<b>8. お問い合わせの前に</b> .....	<b>36</b>
8.1 PSIM のバージョン情報を確認する .....	36
8.2 Windows のシステム情報を確認する .....	37

# 1. HASP キースタンドアロン版

本章ではHASPキースタンドアロン版のインストール方法について説明します。

## ◆ Hasp キーの種類の確認:

**HASP キーの種類が、HASP HL または Sentinel HL であることを確認してください。** PSIM では 3 種類の HASP キーが存在します。キーの画像を以下に示します。(色は異なる場合があります。ネットワーク版は赤です。)



※) 旧タイプのHASPキー (HASP4) では、PSIM Ver10.0以降をお使いいただくことができません。HASP4 をお持ちの方は新しいキーを発行いたしますので弊社までご連絡ください。

## ◆ HASP Driver V20.0(以降)の確認:

HASP キーをローカルコンピュータに接続します。ウェブブラウザを起動し、アドレスに“ Localhost:1947”を入力しますと「Sentinel Admin Control Center」が表示されます。[Options]で[Diagnosics]をクリックし、**ライセンスマネージャーバージョンが 20.0(以上)で、ランタイムインストーラーが 7.6(以上)を確認します。**

※)ドライバの更新は「[トラブルシューティングガイド 3. HASP キードライバの再インストール方法](#)」を参照してください。

**Options**

- Sentinel Keys
- Products
- Features
- Sessions
- Update/Attach
- Access Log
- Configuration
- Diagnosics
- Help
- About

Diagnosics for Sentinel License Manager on TRICIA

License Manager Version	20.0 Build 70827		
Computer Name	TRICIA (PID:4460 on Win64)		
Host Operating System	Windows 10 Home Build 17134 Intel64 Family 6 Model 94 Stepping 3		
LM Protocols	IPv4, IPv6 (TCP and UDP at port 1947)		
	169.254.142.230	2001:569:7622:7e00:24bc:2b8b:7f0f:b18f	fe80::5c26:c75e:2d02:74d%19
	169.254.7.77	2001:569:7622:7e00:c57e:5650:353b:3e7d	fe80::6559:587c:1d91:8ee6%8
	192.168.1.80	fe80::24bc:2b8b:7f0f:b18f%16	169.254.51.0
Uptime	0 days 8 hours 3 minutes 19 seconds		
Template Sets	_int_		
Current Template	English 10.0 (28 June 2017 Build 1)		
Current Usage	3 logins, 3 sessions		
Login Requests	4 (3 peak simultaneous logins)		
Requests	91 local, 710 remote, 801 total		
Data Volume	840,929 received, 5,048,046 transmitted		
Errors	0 Key related, 0 in Transport		
Client Threads	1 (4 peak)		
Memory Used	1,298,059 (1,201 blocks)		
Run-time	Run-time Installer	7.60	
	Run-time Package	7.60	
	aksusb.sys	3.43	
	akshhl.sys	1.26	
	aksclass.sys	1.31	
	akshasp.sys	4.26	
	hardlock.sys	3.91	
	fridge_lib	1.8	
	aksfridge.sys	1.77	

Generate Report

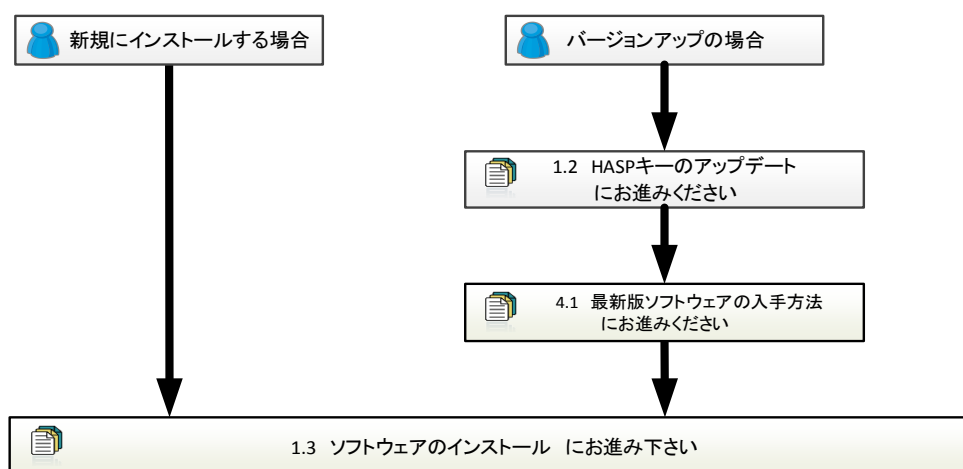
## 1.1 事前準備

まずは<注意事項>をお読みいただき、インストール前の準備をして下さい。  
その後、<フローチャート>から状況に合わせて読み進めてください。

### <注意事項>

- ・ Admin権限をもったユーザーに切り替えてください
- ・ HASPキーをPCIに挿してください
- ・ ライセンス確認書をお手元にご用意ください

### <フローチャート>



## 1.2 HASP キーのアップデート

**「HASP キーのアップデート」は、次の場合に行います。**

- 1) バージョンアップ : PSIMv11. x. x/v10. x. x から PSIMv12. 0. x にアップデート  
(例 : PSIMv12. 0. x⇒v12. 1. x は必要、PSIMv12. 0. x ⇒ PSIMc12. 0. y は不要)
- 2) モジュールの追加 (例 : PSIM Professional に SPICE モジュールを追加、の場合は必要)

※) 不要の場合には、「1.3 ソフトウェアのインストール」に進みます。

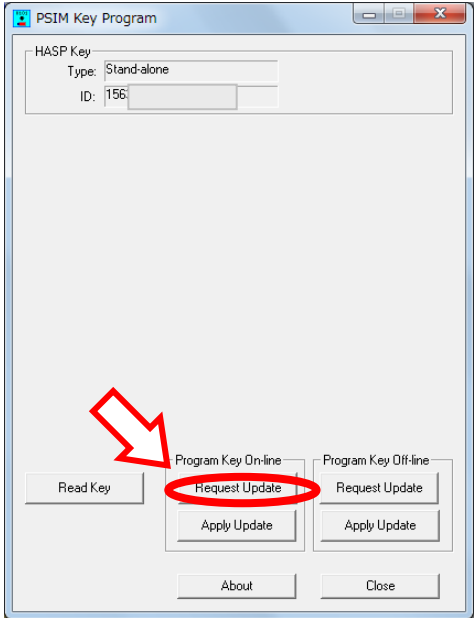
### ①ライセンスキー書き換えツール (KeyProgram. exe) をダウンロードする



※ホームページはデザイン変更されている場合があります。

はじめに、HASPキーのアップデートに必要なライセンスキー書き換えツール (KeyProgram. zip) を弊社ホームページ (<https://www.myway.co.jp/products/psim/download/lisence-key.html>) からダウンロードし、解凍してください。

### ②KeyProgram. exeを実行する



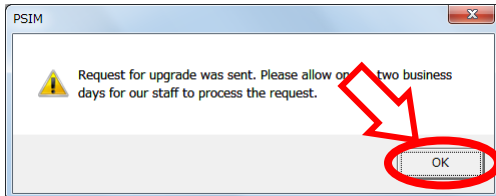
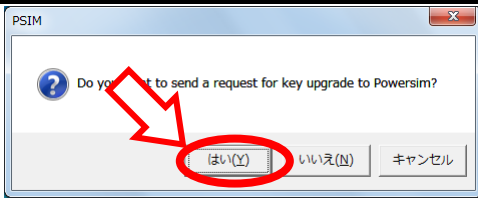
HASP キーを PC に挿入した状態で、KeyProgram. exe を実行します。

「Program Key On-line」の「Request Update」タブをクリックします。

(HASP キーのドライバは自動的にインストールされますが、キーが認識されない場合は USB メモリの中の "HaspUserSetup. exe" を実行してください。 <http://www.powersimtech.com/download/HaspUserSetup.zip>からもダウンロード可能です。)



### ③アップデートリクエストを送信する

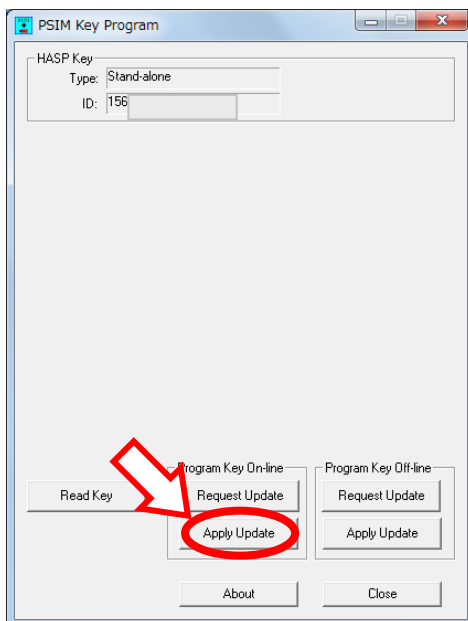


リクエスト送信の確認が表示されるので「はい」をクリックします。

リクエストが送信され、リクエストの処理に1~2営業日が必要とのメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

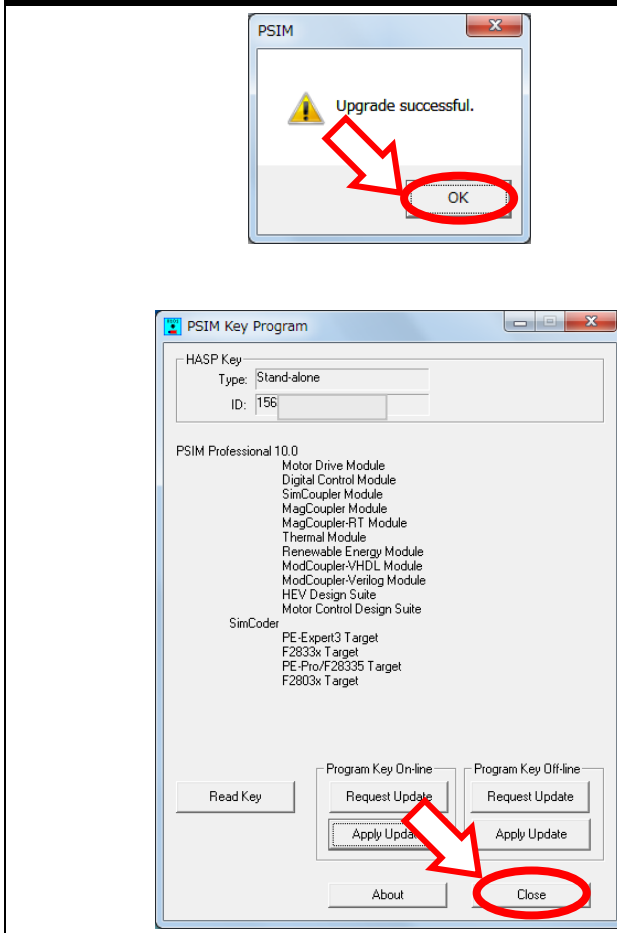
※リクエスト処理に1~2営業日かかりますのでお待ちください。

### ④アップデートを適用する



1~2営業日後に、HASPキーをPCに挿した状態でもう一度KeyProgram.exeを実行します。HASPキーを認識したら「Program Key On-line」の中の「Apply Update」タブをクリックします。

## ⑤アップデート内容を確認する



アップデート成功のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

(3営業日以上経過しても正しくアップデートされない場合は弊社までご連絡ください。)

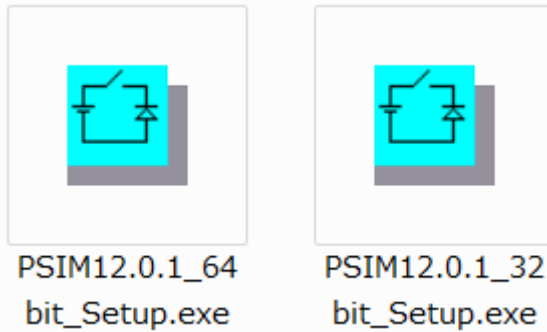
KeyProgramの中でアップデート内容が表示されるので確認した後「Close」をクリックします。

アップデートが完了しましたら、

**4.1 最新版ソフトウェアの入手方法**  
にお進みください。

### 1.3 ソフトウェアのインストール

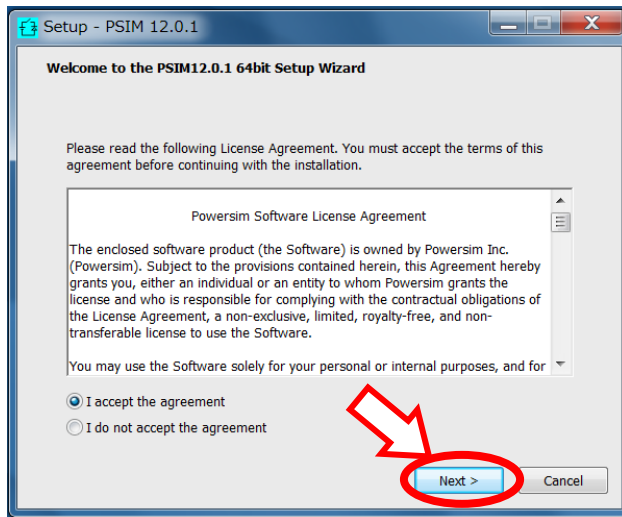
#### ① セットアップファイルを実行する



**HASPキーをPCIに挿し、セットアップファイルを実行します。**

USBメモリからインストールする場合、実行するセットアップファイルは「PSIM12.X.X\_64bit\_setup.exe」です。(32bit版の場合、「PSIM12.X.X\_32bit\_setup.exe」)

#### ② インストールウィザードを開始、ライセンス契約に同意する

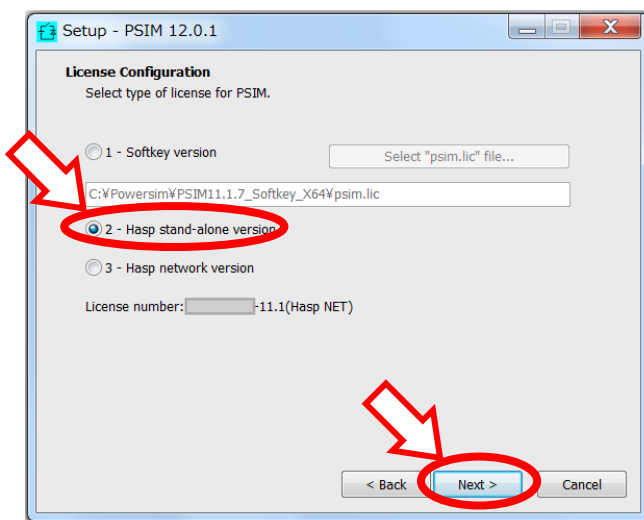


インストールウィザードが立ち上がります。

ライセンス契約の確認画面が表示されます。内容を確認後、「I accept the license agreement」を選択し、「Next」をクリックします。

※この先の説明は64bit版のインストール画面を使用しています。

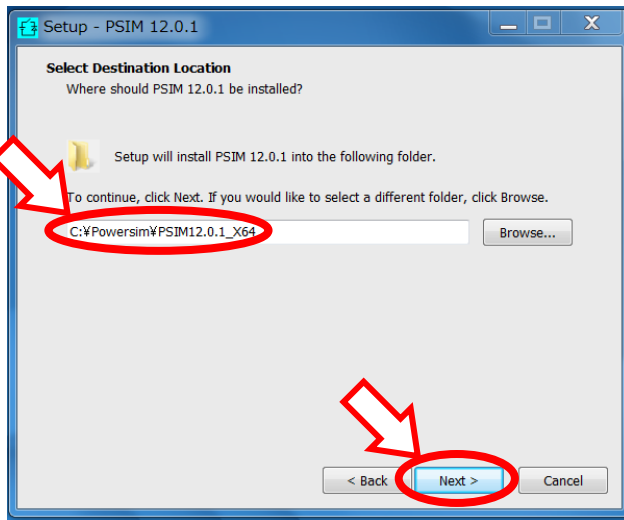
#### ③ ライセンス形態を選択する



ライセンス形態の選択画面が表示されます。

「2-Hasp stand-alone version」を選択し、「Next」をクリックします。

#### ④ インストール先を指定する



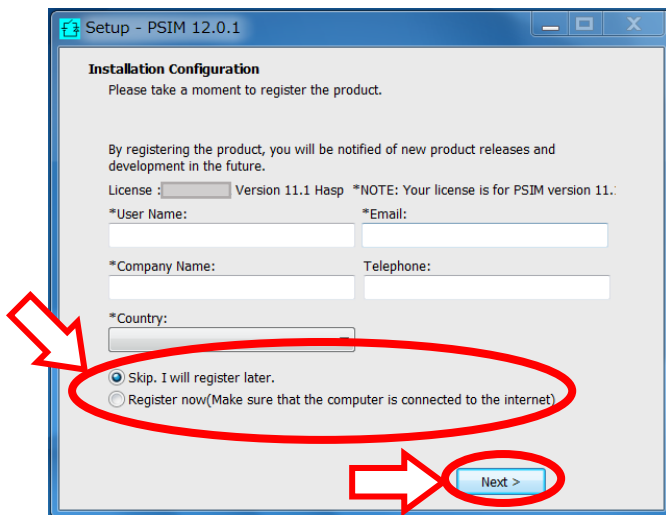
PSIMのインストール先を指定してください。

デフォルトではC:\Powersim\PSIM12.0.X\_X64になります。

変更したい場合は、「Browse」をクリックしてインストール先を指定してください。

指定できたら「Next」をクリックします。

#### ⑤ ユーザー情報を登録する/しないを選択する

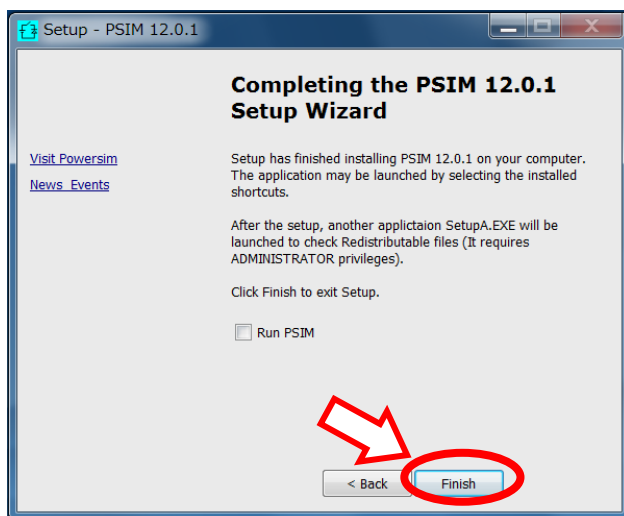


インストールが終了すると、ユーザー情報の登録画面が表示されます。

登録する場合はフォームに記入後、「Register now」を選択し、今すぐに登録しない場合は「Skip, I will register later」を選択し、「Next」をクリックします。

※ユーザー情報を登録しなくてもPSIMはご使用いただけます。

#### ⑥ インストールウィザードを終了する



以上でインストールは終了です。

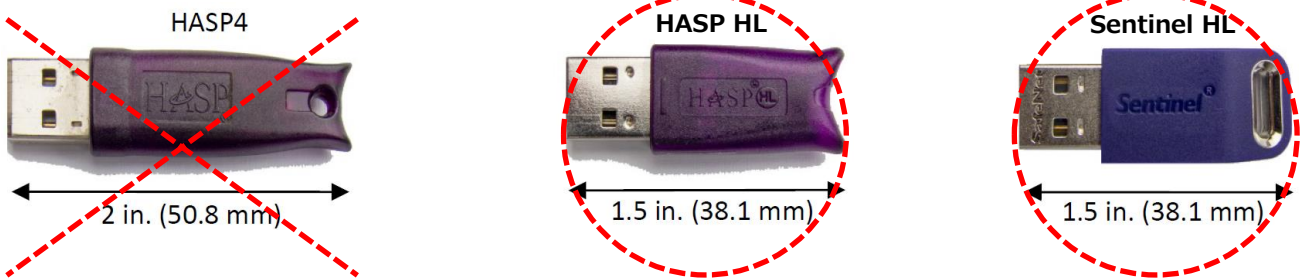
すぐにPSIMを起動する場合は「Run PSIM」にチェックを入れて「Finish」をクリックします。

## 2. HASP キーネットワーク版

本章ではHASPキーネットワーク版のインストール方法について説明します。

### ◆ Hasp キーの種類の確認:

**HASP キーの種類が、HASP HL または Sentinel HL であることを確認してください。** PSIM では 3 種類の HASP キーが存在します。キーの画像を以下に示します。(色は異なる場合があります。ネットワーク版は赤です。)



※) 旧タイプのHASPキー (HASP4) では、PSIM Ver10.0以降をお使いいただくことができません。HASP4 をお持ちの方は新しいキーを発行いたしますので弊社までご連絡ください。

### ◆ Hasp Driver V20.0(以降)の確認:

hasp キーをローカルコンピュータに接続します。ウェブブラウザを起動し、アドレスに“ Localhost:1947”を入力しますと「Sentinel Admin Control Center」が表示されます。[Options]で[Diagnostics]をクリックし、**ライセンスマネージャーバージョンが 20.0(以上)で、ランタイムインストーラーが 7.6(以上)を確認します。**

※)ドライバの更新は「[トラブルシューティングガイド 3. HASP キードライバの再インストール方法](#)」を参照してください。

**Options**

- Sentinel Keys
- Products
- Features
- Sessions
- Update/Attach
- Access Log
- Configuration
- Diagnostics
- Help
- About

More Languages ...

Diagnostics for Sentinel License Manager on TRICIA

License Manager Version	20.0 Build 70827		
Computer Name	TRICIA (PID:4460 on Win64)		
Host Operating System	Windows 10 Home Build 17134 Intel64 Family 6 Model 94 Stepping 3		
LM Protocols	IPv4, IPv6 (TCP and UDP at port 1947)		
	169.254.142.230	2001:569:7622:7e00:24bc:2b8b:70fb18f	fe80::5c26:c75e:2d02:74d%19
	169.254.7.77	2001:569:7622:7e00:c57e:5650:353b:3e7d	fe80::6559:587c:1d91:8ee6%8
	192.168.1.80	fe80::24bc:2b8b:70fb18%16	169.254.51.0
Uptime	0 days 8 hours 3 minutes 19 seconds		
Template Sets	_int_		
Current Template	English 10.0 (28 June 2017 Build 1)		
Current Usage	3 logins, 3 sessions		
Login Requests	4 (3 peak simultaneous logins)		
Requests	91 local, 710 remote, 801 total		
Data Volume	840,929 received, 5,048,046 transmitted		
Errors	0 Key related, 0 in Transport		
Client Threads	1 (4 peak)		
Memory Used	1,298,059 (1,201 blocks)		
Run-time	Run-time Installer	7.60	
	Run-time Package	7.60	
	aksub.sys	3.43	
	akshhl.sys	1.26	
	aksclass.sys	1.31	
	akshasp.sys	4.26	
	hardlock.sys	3.91	
	fridge_lib	1.8	
	akstridge.sys	1.77	

Generate Report

## 2.1 事前準備

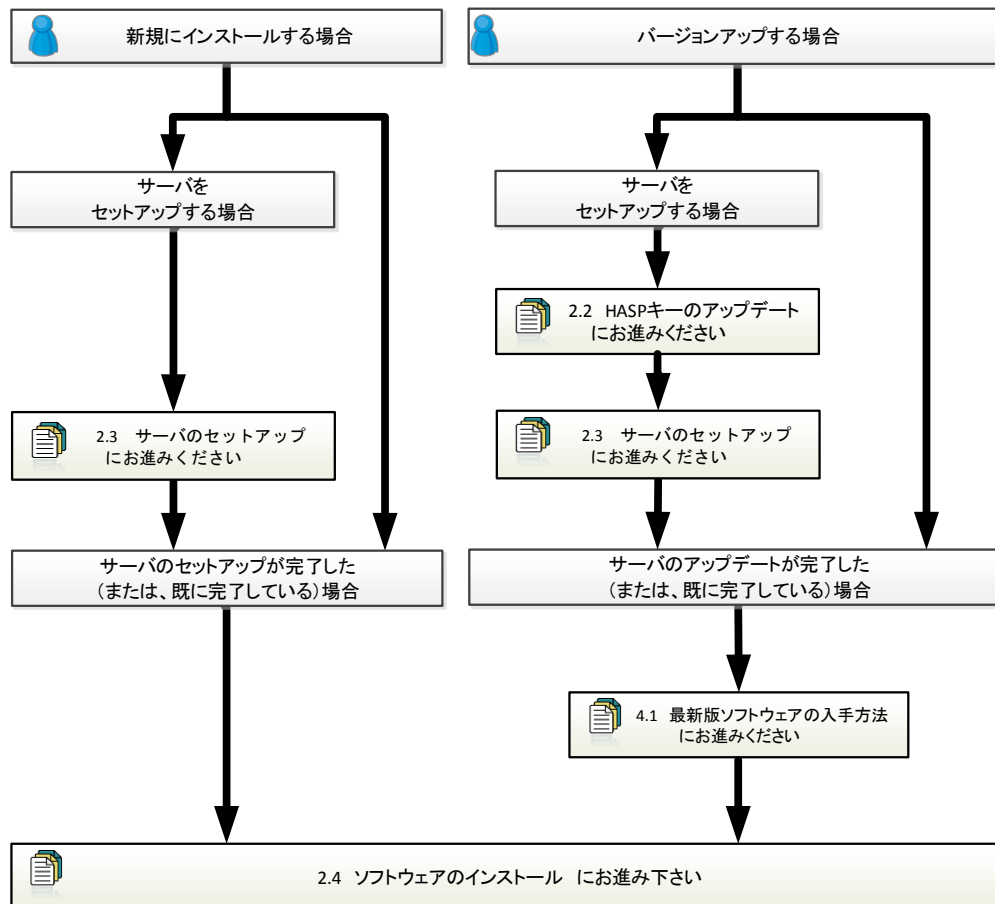
まずは<注意事項>をお読みいただき、インストール前の準備をして下さい。

その後、<フローチャート>から状況に合わせて読み進めてください。

### <注意事項>

- ・ Admin権限をもったユーザーに切り替えてください（サーバ側、クライアント側ともに）
- ・ ライセンス確認書をお手元にご用意ください

### <フローチャート>



## 2.2 HASP キーのアップデート

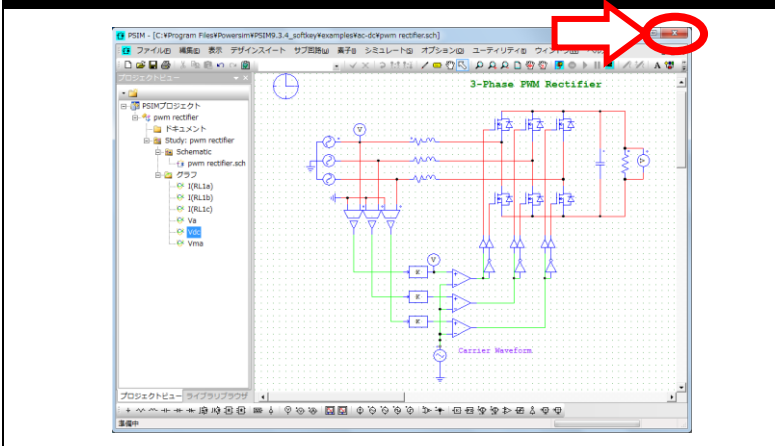
**「HASP キーのアップデート」は、次の場合に行います。**

- 1) バージョンアップ : PSIMv11. x. x/v10. x. x から PSIMv12. 0. x にアップデート  
(例 : PSIMv12. 0. x⇒v12. 1. x は必要、PSIMv12. 0. x ⇒ PSIMc12. 0. y は不要)
- 2) モジュールの追加 (例 : PSIM Professional に SPICE モジュールを追加、は必要)
- 3) ユーザーの追加 (例 : 1 ユーザーから 3 ユーザーに追加、は必要)

**※) 不要の場合には、「2.3 ソフトウェアのインストール」に進みます。**

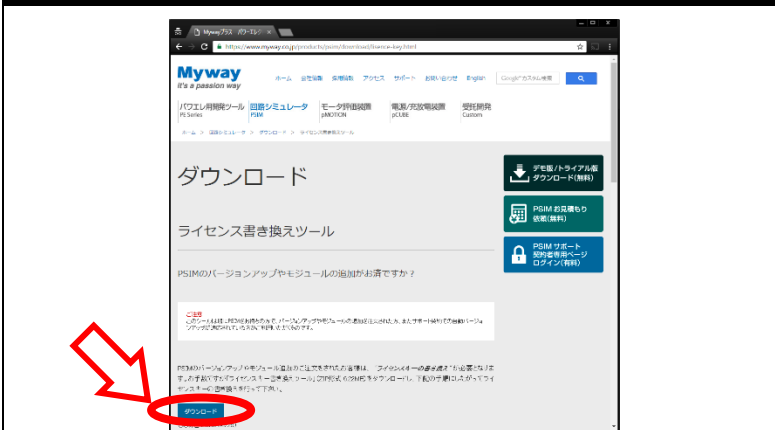
(※本操作はサーバ側のみ必要です)

### ①クライアント側のPSIMを全て終了する



クライアント側で起動しているPSIMを全て終了させてください。

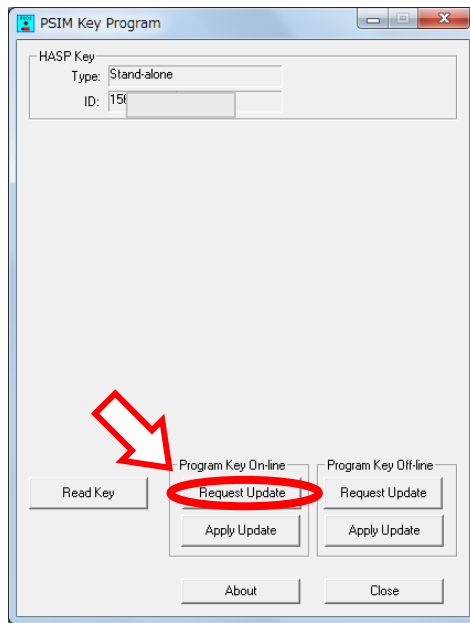
### ②ライセンスキー書き換えツール(KeyProgram.exe)をダウンロードする



はじめに、HASPキーのアップデートに必要なライセンスキー書き換えツール(KeyProgram.zip)を弊社ホームページ(<https://www.myway.co.jp/products/psim/download/lisence-key.html>)からダウンロードし、解凍してください。

※ホームページはデザイン変更されている場合があります。

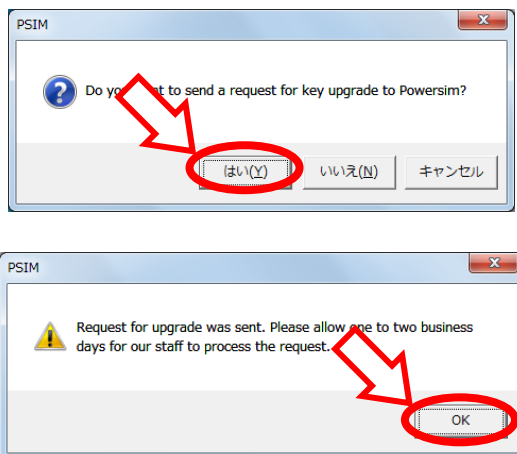
## ③KeyProgram. exeを実行する



HASP キーを PC に挿入した状態で、KeyProgram. exe を実行します。

(HASP キーのドライバは自動的にインストールされますが、キーが認識されない場合は USB メモリの中の "HaspUserSetup. exe" を実行してください。 <http://www.powersimtech.com/download/HaspUserSetup.zip>からもダウンロード可能です。)

## ④アップデートリクエストを送信する



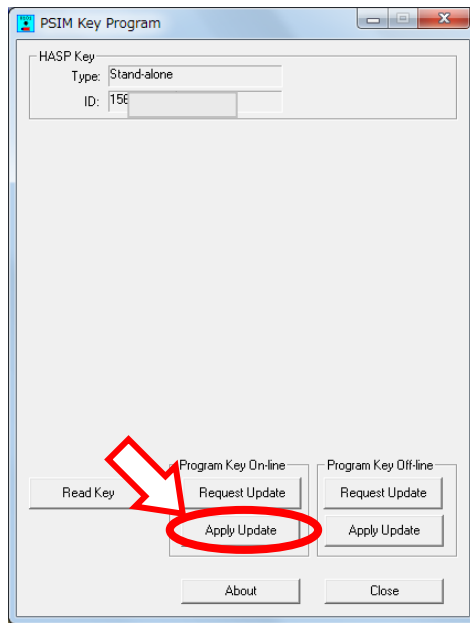
リクエスト送信の確認が表示されるので「はい」をクリックします。

リクエストが送信され、リクエストの処理に1~2営業日が必要とのメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

※リクエスト処理に 1~2 営業日かかりますのでお待ちください。

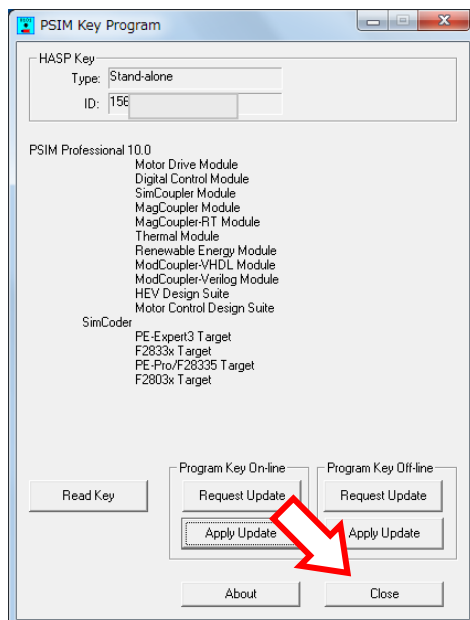
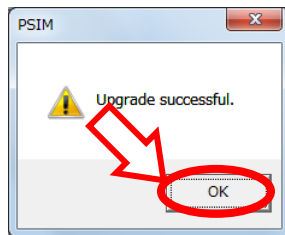


## ⑤アップデートを適用する



リクエスト処理完了後、HASPキーをPCに挿した状態でもう一度KeyProgram.exeを実行します。HASPキーを認識したら「Program Key On-line」の中の「Apply Update」をクリックします。

## ⑥アップデート内容を確認する



アップデート成功のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。

KeyProgramの中でアップデート内容が表示されるので確認した後「Close」をクリックします。

アップデートが完了しましたら、  
**2.3 サーバのセットアップ**  
にお進みください。

## 2.3 サーバのセットアップ

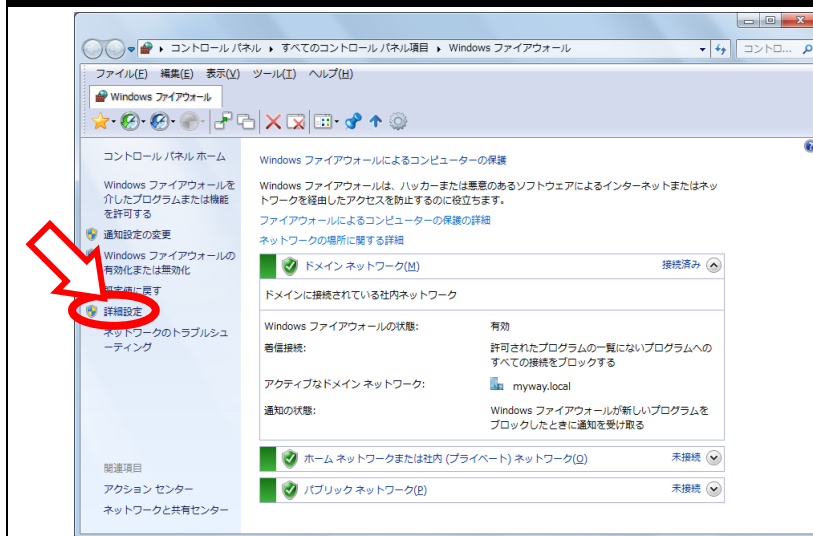
(※本操作はサーバ側のみ必要です)

**PSIM Ver12.0のネットワークライセンスは、ポート1947を使用します。**以下はWindows ファイアウォールにおける手順です。(他のファイアウォールソフトウェアを使用する場合はそのソフトウェアのユーザーガイドの中のポート開放の項目を参照してください。)

※ PSIM Ver9.Xを使用する場合には別途「[HASP License Manager](#)」が必要となります。

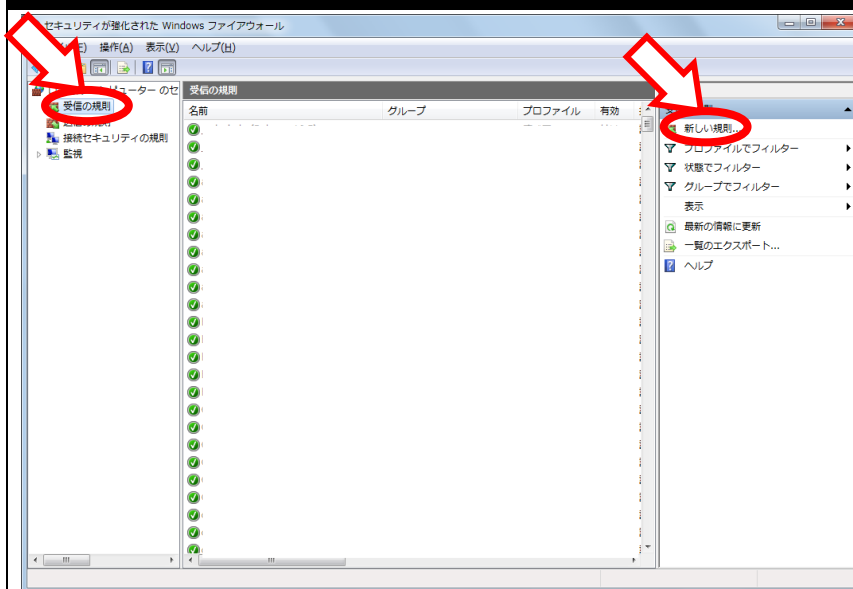
[2章の先頭「Hasp キーの種類の確認」と「Hasp Driver V20.0\(以降\)の確認」](#)をご参照ください。

### ①ファイアウォールの詳細設定を開く



「コントロールパネル」の「Windowsファイアウォール」で「詳細設定」をクリックします。

### ②受信の規則で新しい規則を作成する



左側の「受信の規則」を選択して、右側の「新しい規則」をクリックします。



以下のように順番に設定して  
いきます。

「規則の種類」

⇒ポート

「プロトコルおよびポート」

⇒特定のローカルポート

1947

「操作」

⇒接続を許可する

「プロファイル」

⇒(適切なものにチェック)

「名前」

⇒(任意)

### ③送信の規則で新しい規則を作成する

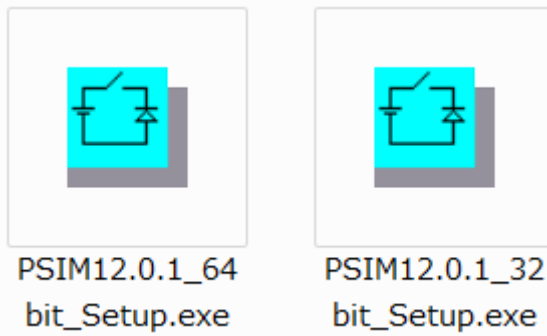
②と同様に送信の規則についても新しい規則を設定します。

以上でサーバのセットアップは完了となります。

## 2.4 ソフトウェアのインストール

(※本操作はクライアント側のみ必要です)

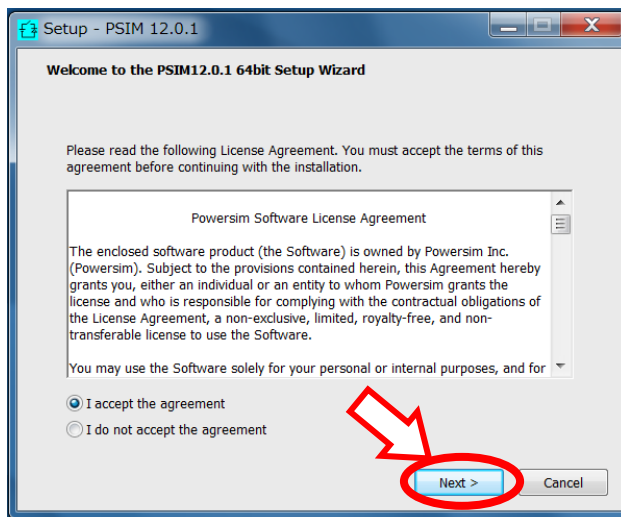
### ①セットアップファイルを実行する



**HASPキーをPCIに挿し、セットアップファイルを実行します。**

USBメモリからインストールする場合、実行するセットアップファイルは「PSIM12.X.X\_64bit\_setup.exe」です。(32bit版の場合、「PSIM12.X.X\_32bit\_setup.exe」)

### ②インストールウィザードを開始、ライセンス契約に同意する



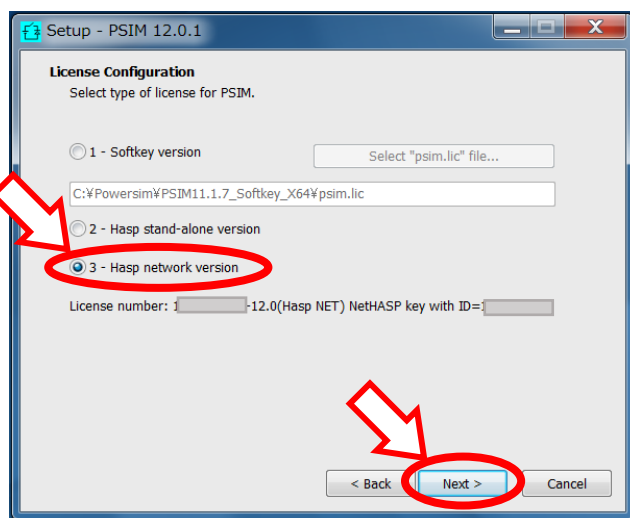
インストールウィザードが立ち上がります。

ライセンス契約の確認画面が表示されます。

内容を確認後、「I accept the license agreement」を選択し、「Next」をクリックします。

※この先の説明は64bit版のインストール画面を使用しています。

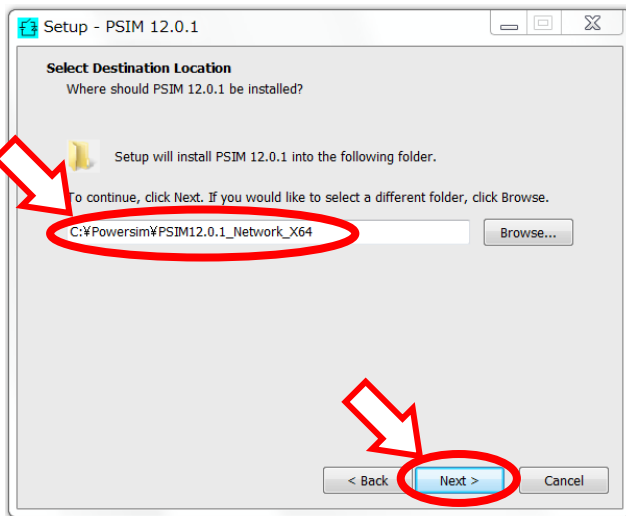
### ③ライセンス形態を選択する



ライセンス形態の選択画面が表示されます。

「3-Hasp network version」を選択し、「Next」をクリックします。

#### ④インストール先を指定する



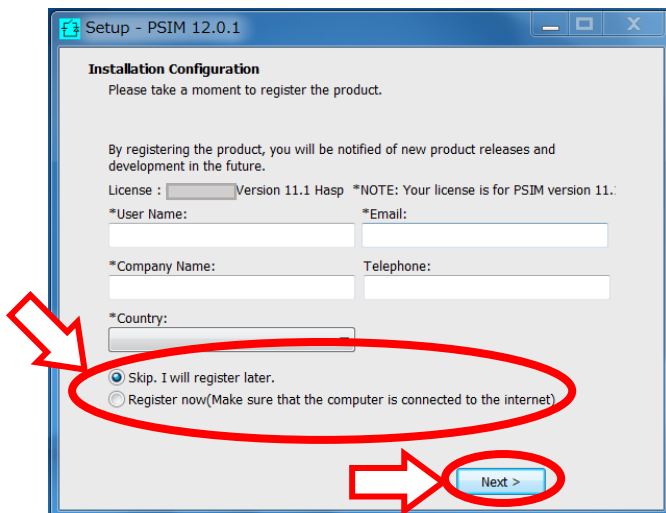
PSIMのインストール先を指定してください。

デフォルトではC:\Powersim\PSIM12.0.X\_Network\_X64になります。

変更したい場合は、「Browse」をクリックしてインストール先を指定してください。

指定できたら「Next」をクリックします。

#### ⑤ユーザー情報を登録する/しないを選択する

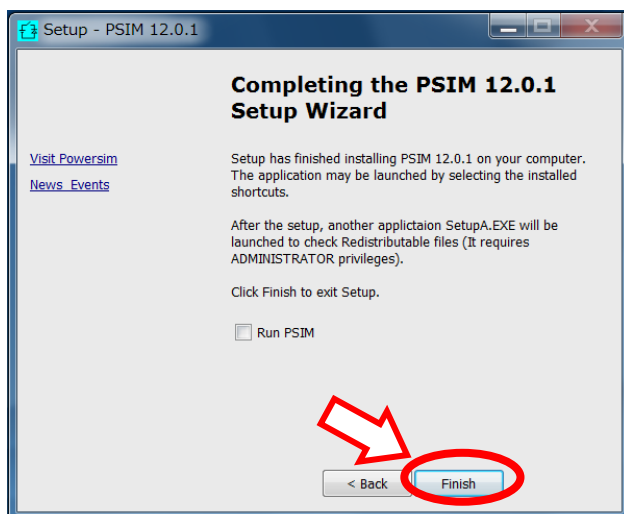


インストールが終了すると、ユーザー情報の登録画面が表示されます。

登録する場合はフォームに記入後、「Register now」を選択し、今すぐに登録しない場合は「Skip, I will register later」を選択し、「Next」をクリックします。

※ユーザー情報を登録しなくてもPSIMはご使用いただけます。

#### ⑥インストールウィザードを終了する



以上でインストールは終了です。

すぐにPSIMを起動する場合は「Run PSIM」にチェックを入れて「Finish」をクリックします。

### 3. ソフトキースタンドアロン版（レンタル版）

本章ではPSIMソフトキースタンドアロン版（レンタル版）のインストール方法について説明します。

#### 3.1 事前準備

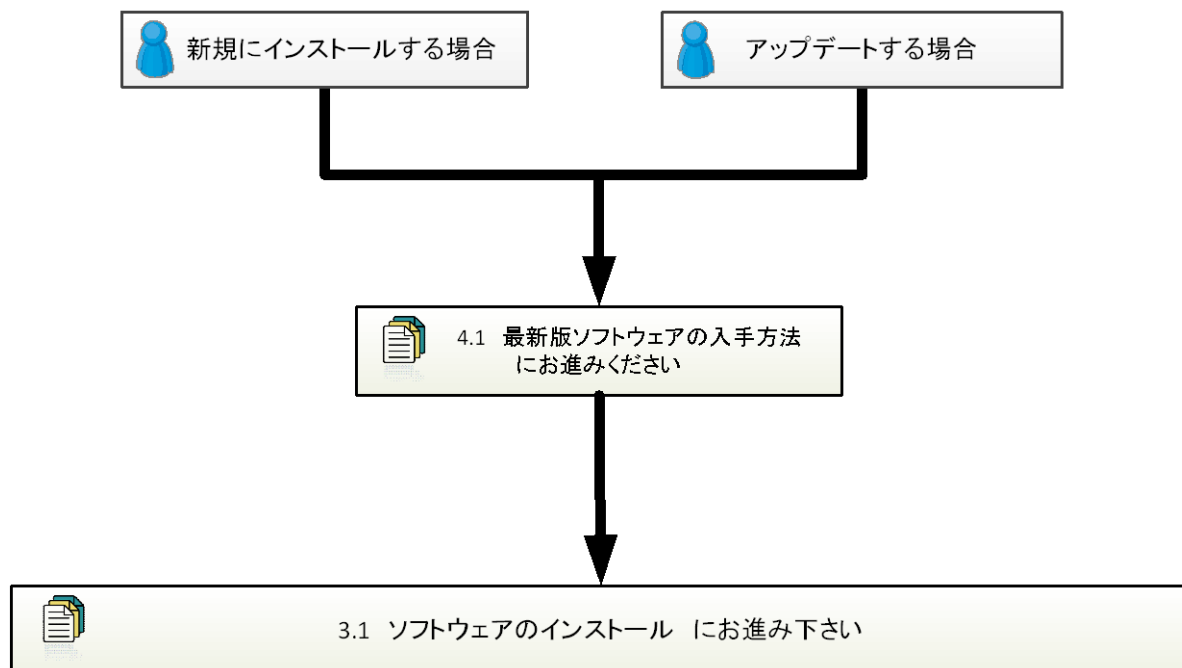
まずは<注意事項>をお読みいただき、インストール前の準備をして下さい。

その後、<フローチャート>から状況に合わせて読み進めてください。

##### <注意事項>

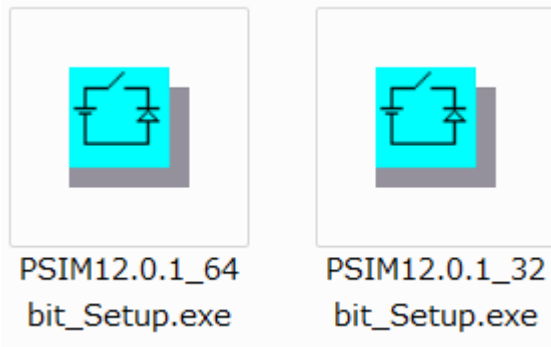
- ・ Admin権限をもったユーザーに切り替えてください
- ・ ライセンスファイル(psim.lic)をデスクトップなど任意の場所にご用意下さい。
- ・ ライセンス確認書をお手元にご用意下さい
- ・ 別マシンへの移行やOSの再インストールを行う場合は旧環境で事前に「オプション」⇒「ディアクティベーション」でディアクティベーションを行いコンピュータの登録を解除してください。事前にディアクティベーションを行えず、インストールが正常に行えない場合は弊社までご連絡ください。
- ・ ユーザーがPSIMをインストールするとインストーラーはPowersim社サーバに、ハードディスクID、CPU ID、MACアドレスから自動生成されるコンピュータIDを記録します。またPSIM起動時には、Windowsログイン名とIPアドレス情報を記録します。情報はPowersim社の内部ライセンス管理のみで使用するもので、厳密に管理されます。収集する情報に懸念がある場合は、インストール前に、弊社にお問い合わせください。

##### <フローチャート>



## 3.2 ソフトウェアのインストール

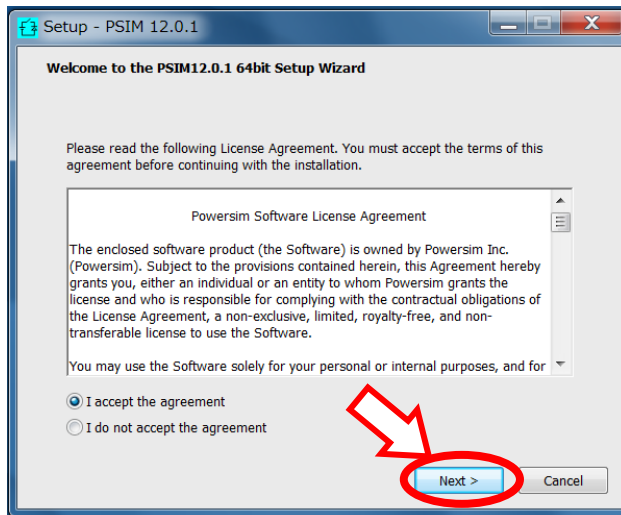
### ① セットアップファイルを実行する



ライセンスファイル(psim.lic)をデスクトップなど任意の場所に用意し、セットアップファイルを実行します。

USBメモリからインストールする場合、実行するセットアップファイルは「PSIM12.X.X\_64bit\_setup.exe」です。(32bit版の場合、「PSIM12.X.X\_32bit\_setup.exe」)

### ② インストールウィザードを開始、ライセンス契約に同意する



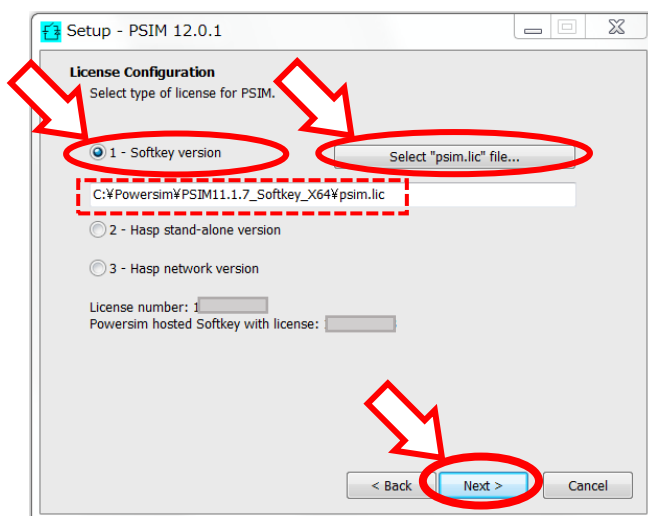
インストールウィザードが立ち上がります。

ライセンス契約の確認画面が表示されます。

内容を確認後、「I accept the license agreement」を選択し、「Next」をクリックします。

※この先の説明は64bit版のインストール画面を使用しています。

### ③ ライセンス形態を選択する



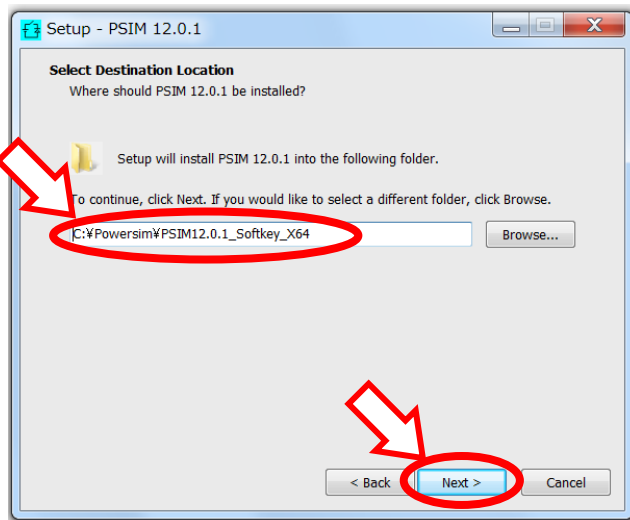
ライセンス形態の選択画面が表示されます。

「1-Softkey version」を選択し、「Select "psim.lic" file...」をクリックします。

送付したライセンスファイル(psim.lic)を選択します。

「Next」をクリックします。

#### ④インストール先を指定する



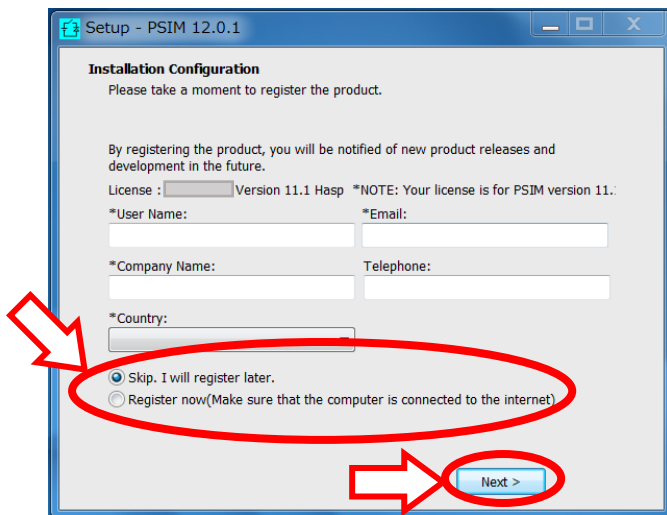
PSIMのインストール先を指定してください。

デフォルトではC:\Powersim\PSIM12.0.X\_softkey\_X64になります。

変更したい場合は、「Browse」をクリックしてインストール先を指定してください。

指定できたら「Next」をクリックします。

#### ⑤ユーザー情報を登録する/しないを選択する

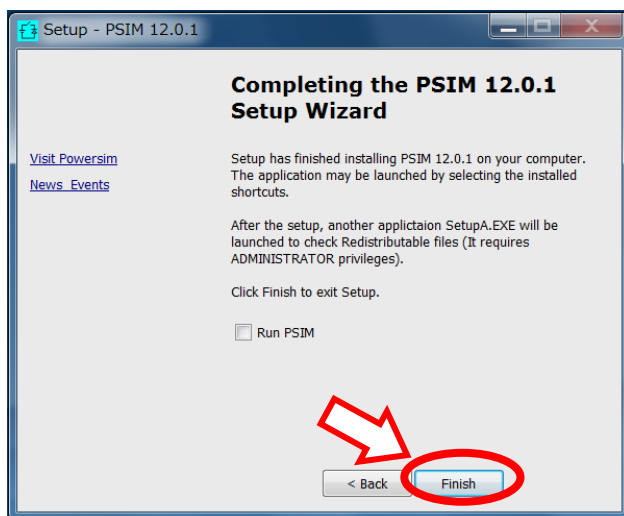


インストールが終了すると、ユーザー情報の登録画面が表示されます。

登録する場合はフォームに記入後、「Register now」を選択し、今すぐに登録しない場合は「Skip, I will register later」を選択し、「Next」をクリックします。

※ユーザー情報を登録しなくてもPSIMはご使用いただけます。

#### ⑥インストールウィザードを終了する



以上でインストールは終了です。

すぐにPSIMを起動する場合は「Run PSIM」にチェックを入れて「Finish」をクリックします。



## 4. 最新版ソフトウェアの入手

本章では最新版ソフトウェアの入手方法について説明します。

最新版ソフトウェアの入手が完了しましたら、各ライセンス形態のフローに戻りインストールを行ってください。

※新規ご購入等で最新版ソフトウェアの入った PSIM CD がお手元にある場合はこの手順は不要です。

### 4.1 最新版ソフトウェアの入手方法

#### ① 弊社PSIMサポートページにアクセスする



ウェブブラウザを立ち上げます。

弊社のPSIMサポートページに接続します。(https://www.myway.co.jp/products/psim/psim\_support/index.html)。ユーザー名、パスワードの入力ダイアログが出ますので入力してログインします。(ユーザー名、パスワードはライセンス確認書に記載されておりますのでご参照ください)

#### ②PSIMサポートページメニューから「最新ソフトウェアダウンロード」を選択する



PSIMサポートページにログインしたら、画面右側のメニューから「最新ソフトウェアダウンロード」を選択します。

※ホームページはデザイン変更されている場合があります。

## ③ セットアップファイルをダウンロードする

最新版のソフトウェアは、下記よりダウンロードしてください。  
32bitもご用意しております。ご希望の方は、[こちら](#)よりお申し込みください。

ダウンロードファイル	更新日	ファイルサイズ
<a href="#">PSIM_Ver.12.0.1 (64bit)</a>	2019/10/15	284MB
<a href="#">SmartCtrl_Ver.4.1 (32bit/64bit共通)</a>	2019/6/3	102MB

32bit版のインストーラをご希望の方は、[こちら](#)よりお申し込みください。

PSIM      ラーニングセンター      PSIMcafe      ダウンロード      購入情報  
 PSIM TOP      ラーニングセンター      PSIMcafe      ダウンロード      購入情報  
 PSIMとは      動画で学ぶPSIM      セミナー      リリースノート      購入  
 最新バージョン情報      御用金社情報      イベント      製品仕様書      パッケージアップ  
 エンベューブル情報      実績紹介      トレーニングセミナー      更新履歴      レンタル  
 輸出仕様      詳細紹介      イベント      トライアル版ダウンロード  
 ライセンス形態      PSIMを使った論文      トライアル版ダウンロード

※ホームページはデザイン変更されている場合があります。

ダウンロード項目から最新版のファイルを選択し、ダウンロードします。

セットアップファイルは64bit版をご用意しております。

(32bit版は下のリンクからお問合せください。)

ダウンロードが完了しましたら任意の場所に展開し、続けて各ライセンス形態のフローに戻りソフトウェアをインストールしてください。

## 5. SmartCtrl のインストール

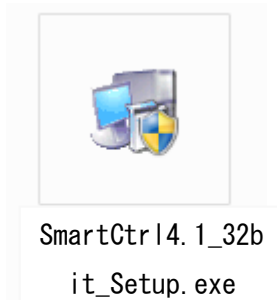
本章ではSmartCtrlのインストール方法について説明します。

### <注意事項>

- ・ Admin権限をもったユーザーに切り替えてください
- ・ HASPキーをPCIに挿してください（ネットワーク版の場合はサーバ側にキーを挿してください）
- ・ ソフトキー（レンタル）版の場合は、ライセンスファイル「smartctrl.lic」が準備されていることを確認してください。

※)「smartctrl.lic」が無い場合には、「④ライセンスファイルを選択する（ソフトキースタンドアロン版のみ）」を参照ください。

### ① セットアップファイルを実行する



セットアップファイル“SmartCtrl4.1\_32bit\_setup.exe”を実行します。

（インストールUSBメモリまたは提供されたダウンロードリンクから入手できます。）

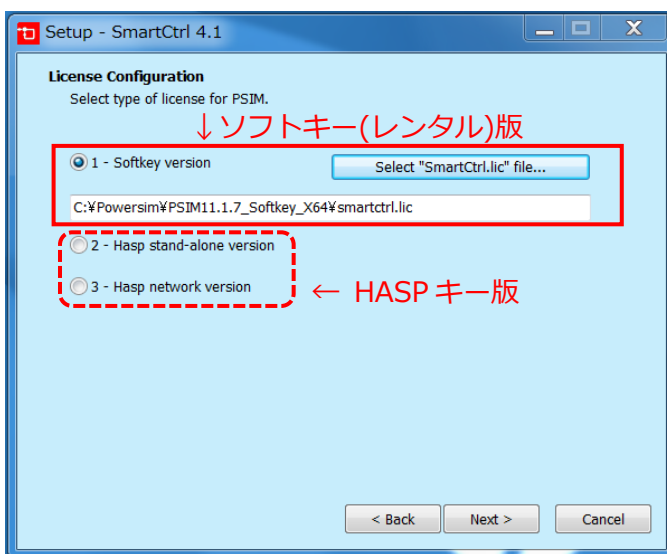
### ② セットアップウィザードに従いインストールする



セットアップウィザードが立ち上がります。セットアップウィザードに従いインストールを行ってください。

ライセンス契約の確認画面が表示されます。内容を確認後、「I accept the agreement」を選択し、「Next」をクリックします。

## ③ ライセンス形態を選択する



ライセンス形態の選択画面が表示されます。  
※ライセンス形態の選択画面ではPSIMソフトウェアと同じライセンス形態を選択し同様の操作を行ってください。

※ライセンス形態によっては「SmartCtrl is not included in your license.」のメッセージが表示される場合がありますが、「OK」をクリックしてそのままインストールを続けてください。

インストール後に生成された“doc”フォルダにSmartCtrlのユーザーマニュアルが入っていますのでご使用方法についてはそちらをご確認ください。

## ④ ライセンスファイルを選択する（ソフトキースタンドアロン版のみ）



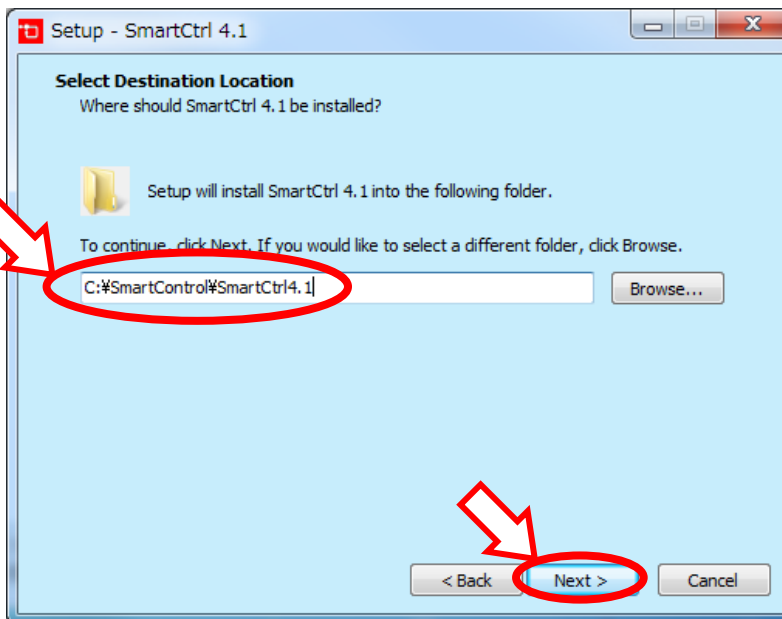
ライセンスファイル選択の“Select“SmartCtrl.lic” file...”をクリックしてファイル参照画面が起動したら、送付したライセンスファイル(psim.lic)をコピーして、ファイル名を(SmartCtrl.lic)として選択します。

ライセンスファイルをデスクトップやMyDocumentなど任意の場所においていただき、選択してください。

元のpsim.licファイルを削除しないようにご注意ください。

選択すると③の画面に戻りますので、「Next」をクリックします。

## ⑤ インストール先を指定する。



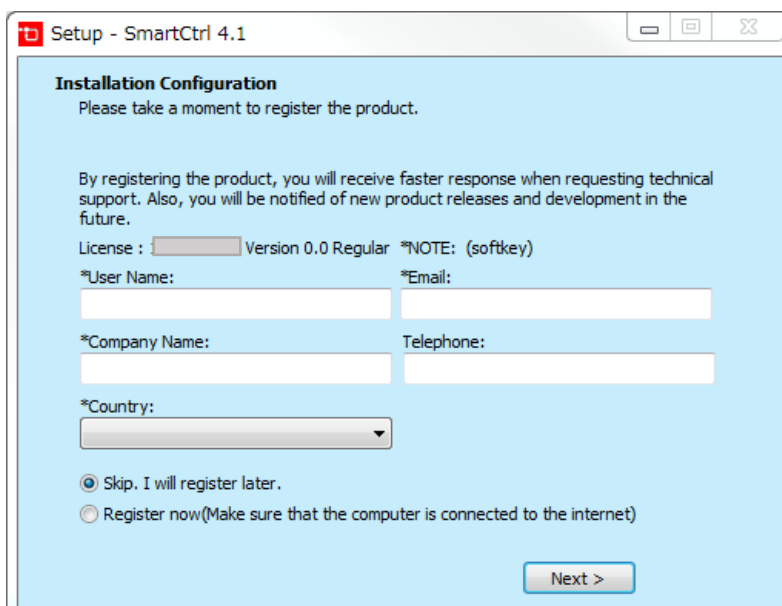
SmartCtrlのインストール先を指定してください。

デフォルトではC:\\$SmartControl\\$SmartCtrl4.1になります。

変更したい場合は、「Browse」をクリックしてインストール先を指定してください。

指定できたら「Next」をクリックします。

## ⑦ インストール先を指定する



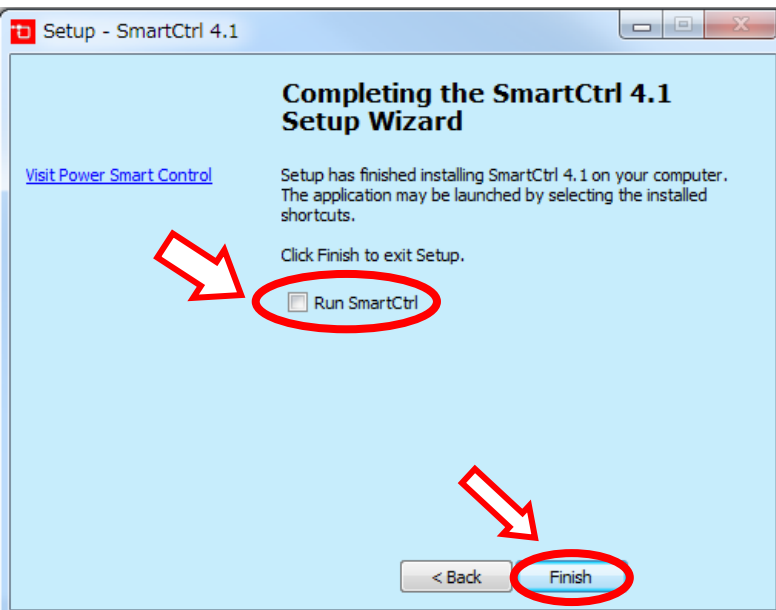
インストールが終了すると、ユーザー情報の登録画面が表示されます。登録する場合はフォームに記入後、「Register now」を選択し、「Next」をクリックします。

今すぐに登録しない場合は「Skip,

I will register later」を選択し、「Next」をクリックします。

※ユーザー情報を登録しなくてもご使用いただけます。

⑦インストールウィザードを終了する。



以上でインストールは終了です。  
すぐにSmartCtrlを起動する場合は  
「Run SmartCtrl」にチェックを入  
れて「Finish」をクリックします。

## 6. HASP ネットワークライセンスの確認方法

本章では HASP ネットワークライセンス の確認方法について説明します。

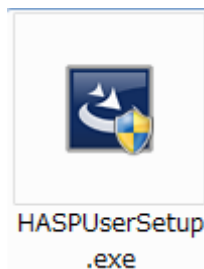
クライアント側 PC に Sentinel LDK Run-time をインストールすることで HASP ネットワークライセンスを確認することができます。

※クライアント側 PC に Sentinel HL タイプのキーを挿入した場合は、自動的に Sentinel LDK Run-time がインストールされますので、以下の手順①は不要です。

(HASP キーのタイプについては、2. HASP キーネットワーク版 をご参照ください。)

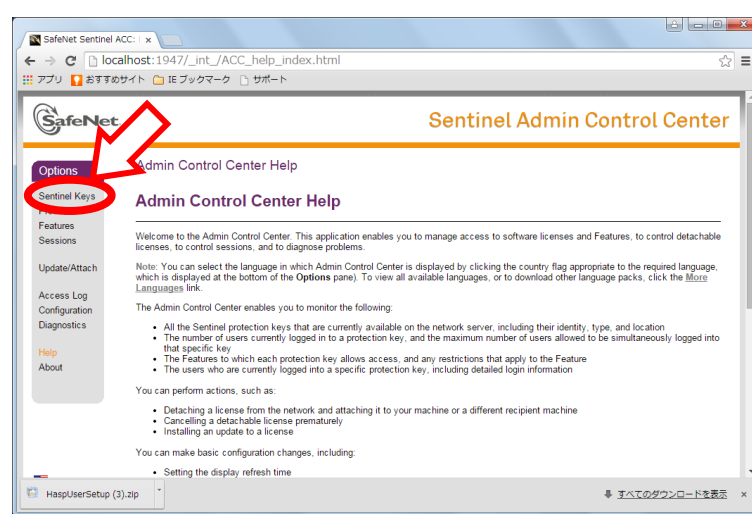
(※本操作はクライアント側のみ必要です)

### ① HASPUserSetup.exe を実行する



PSIM CD の中の  
” HaspUserSetup.exe ” を実行してください。<http://www.powersimtech.com/download/HaspUserSetup.zip>からもダウンロード可能です。)

### ② ネットワークライセンスの確認



ウェブブラウザを立ち上げ、アドレスに”http://localhost:1947”と入力します。

左側の”Options”の中での「Sentinel Keys」をクリックしてサーバPCとKey IDを確認します。

## 7. アドオンオプションの設定方法

本章ではPSIMの下記アドオンオプションの設定方法について説明します。

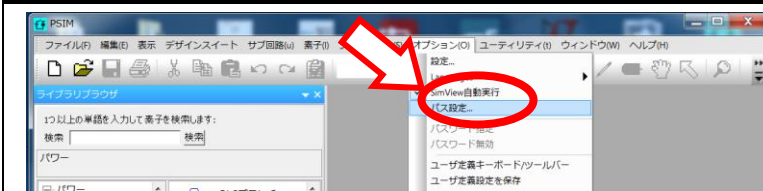
- ・ Magcoupler および Magcoupler-RT
- ・ SimCoupler
- ・ ModCoupler-VHDL および ModCoupler-Verilog

ご購入頂いたオプションモジュールに合わせて読み進めてください。

### 7.1 MagCouplerおよびMagCoupler-RTの設定方法

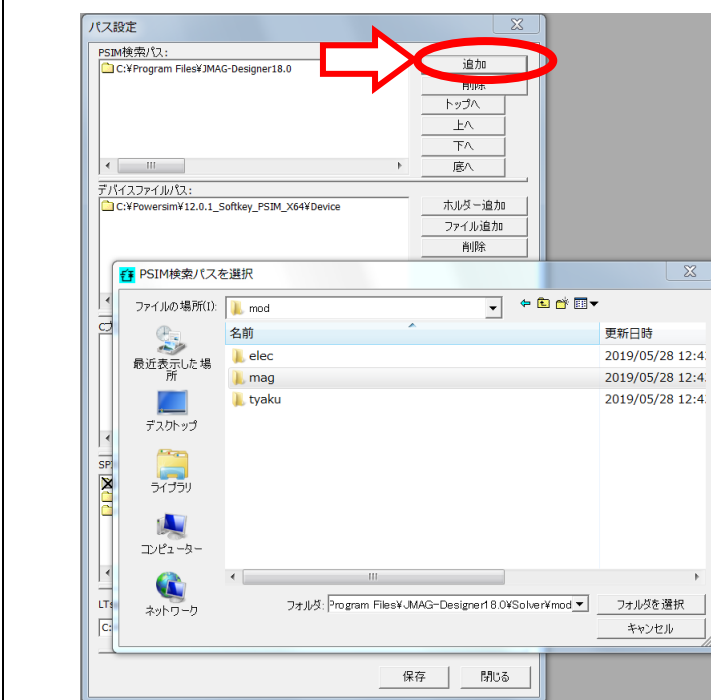
#### 7.1 MagCoupler および MagCoupler-RT の設定方法

##### ①Set Pathを選択する



メニューバーから「オプション」→「パス設定...」を選択してください。

##### ②JMAGインストールフォルダを追加する



「追加」をクリックし、JMAG -Designerのインストールフォルダとインストーラフォルダ¥Solver¥mod¥mag¥modフォルダを指定してください。

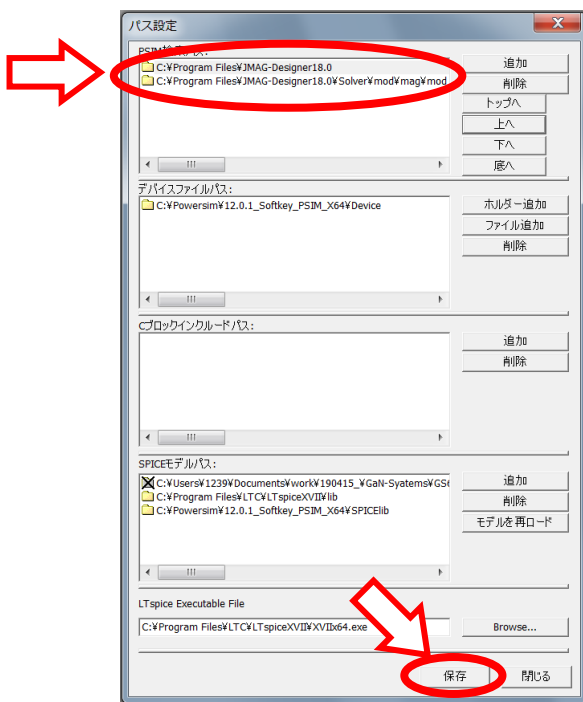
例) C:\Program Files¥JMAG-Designer12.1

例) C:\Program Files¥JMAG-Designer12.1¥

Solver¥mod¥mag¥mod



### ③保存する



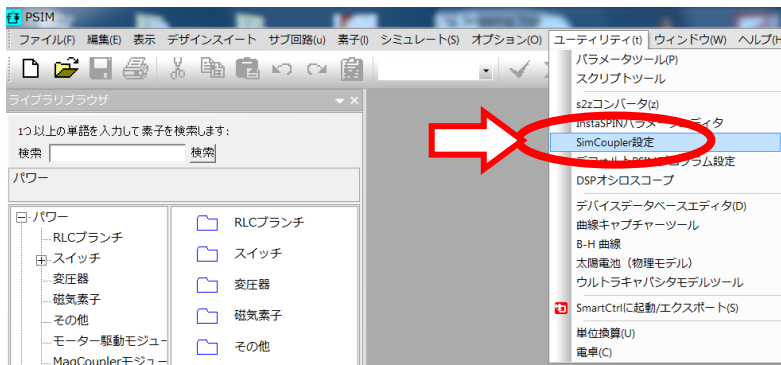
指定したフォルダを確認し、画面左下にある「保存」をクリックします。

今回設定した内容を反映する為に、PSIMを再起動してください。

以上で設定は終了です。

## 7.2 SimCoupler の設定方法

### ① 「SimCoupler 設定」を選択し、「SetSimPath.exe」を実行する

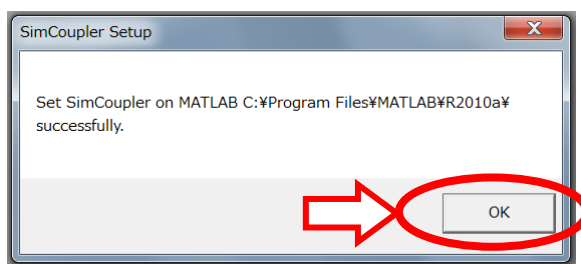


メニューバーから「ユーティリティ」→「SimCoupler 設定」を選択してください。

「SetSimPath.exe」の実行の確認が出る場合は「OK」をクリックします。

※PCにMATLABが複数インストールされている場合は、そのリストが表示されます。連成で使用するMATLAB(複数可)を選択し、OKを押してください。

### ② 「SimCoupler 設定」を終了する



左の画面のように「～successfully.」と表示されたら、「OK」をクリックして「SimCoupler 設定」を終了してください。

以上で設定は完了です。

## 7.3 ModCoupler-VHDL および ModCoupler-Verilog の設定方法

### ①システムの詳細設定を起動する



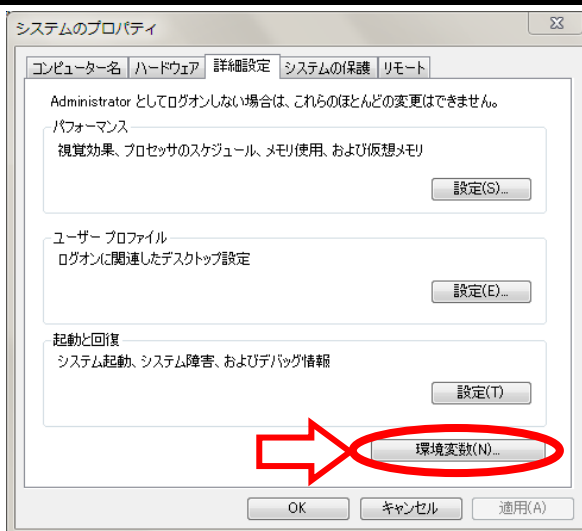
Windowsのシステムの詳細設定を起動します。

起動する方法は二通りあります。どちらかの方法を選択して起動してください。

(A) コントロールパネルを起動し、システムとセキュリティ→システムを選択して左の画面を表示させ、「システムの詳細設定」を選択します。

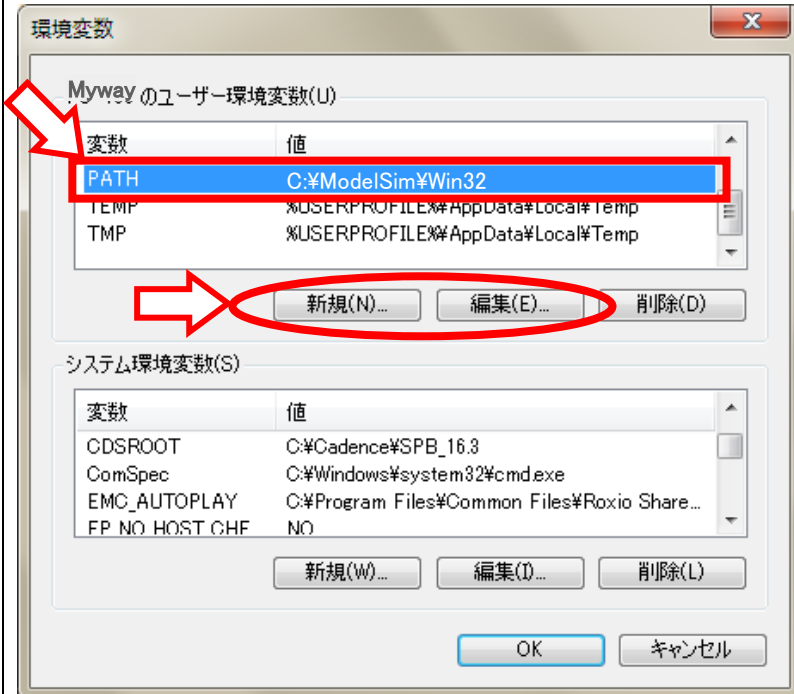
(B) スタートメニューやデスクトップに表示されている「コンピュータ」を右クリックし「プロパティ (R)」を選択して左の画面を表示させ、「システムの詳細設定」を選択します。

### ②環境変数を選択する



システムのプロパティ画面が表示されたら、詳細設定タブの「環境変数 (N) ...」をクリックします。

## ③環境変数PATHにModelSim¥Win32へのパスを設定する



環境変数画面が表示されたら、ユーザー環境変数の欄から「PATH」という変数を探します。

・「PATH」が既に存在する場合  
PATHを選択して「編集(E)...」をクリックし、ModelSim¥Win32へのパスを設定してください。

・「PATH」が存在しない場合  
「新規(N)...」をクリックし、ModelSim¥Win32へのパスを設定してください。

ModelSimがCドライブの直下にインストールされている場合、パスはC:¥ModelSim¥Win32となります。

設定できたら「OK」をクリックします。

以上で設定は完了です。

## 8. お問い合わせの前に

本章では使用時にトラブルやエラーが起きた場合に、まずご確認いただきたい点をまとめました。

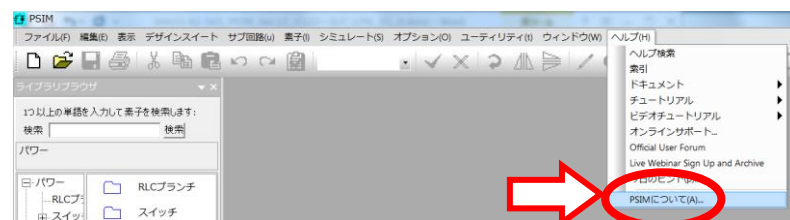
ご確認していただくことでトラブルが解決する場合や、お問合せの際に確認した情報を加えていただくと、原因解明に繋がりがり易くなる場合がありますので、まずはお試し下さい。

### 8.1 PSIMのバージョン情報を確認する

まずは一番基本となるPSIMのバージョン情報を確認します。

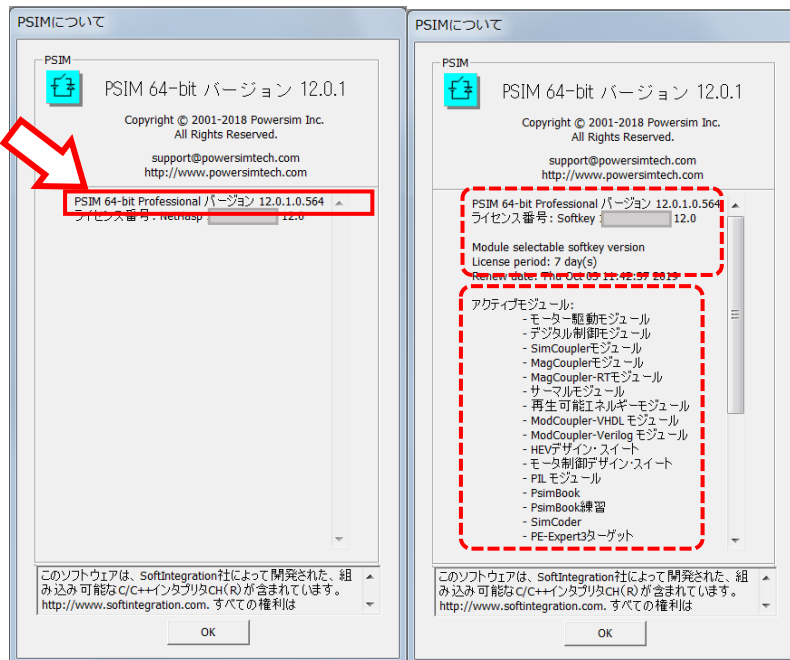
ご利用中のPSIMのバージョンが古い事や、連成シミュレーションを行うソフトウェアと互換性が取れていないバージョンを使用すると、トラブルやエラーを引き起こすことがあります。

#### ① 「PSIMについて」を選択する



メニューバーから「ヘルプ」→「PSIMについて...」を選択してください。

#### ② バージョン情報を確認する



PSIMの設定情報が表示されたら、PSIMのバージョン情報をご確認下さい。このバージョンナンバーの構成は、「12.0.1.0.564」を例にすると以下のとおりになります。

12: メジャーバージョンNo.  
0: マイナーバージョンNo.  
1: リリースNo.  
0.564: 製品の型式

この画面内には“License管理情報”や“License内容(使用可能なモジュールや、ネットワーク版の使用可能人数)”なども表示されます。

## 8.2 Windows のシステム情報を確認する

PSIMを使用するPCのシステム情報を確認します。

インストールしたPSIMのバージョンや型式がOSのバージョン・システムの種類と互換性が無い場合、エラーが発生する可能性があります。

### ① システム情報を確認する

The top screenshot shows the Windows Settings application. The left sidebar has 'システム' (System) selected. The right pane shows 'バージョン情報' (Version information) and 'デバイスの仕様' (Device specifications). A red box highlights the device specifications table:

デバイス名	PC-397-DEMO
プロセッサ	Intel(R) Core(TM) i5-8250U CPU @ 1.60GHz 1.80 GHz
実装 RAM	8.00 GB (7.85 GB 使用可能)
デバイス ID	91148A00-DF4F-4DF0-8CB6-EDFB135DC841
プロダクト ID	[REDACTED]
システムの種類	64 ビット オペレーティングシステム, x64 ベース プロセッサ

The bottom screenshot shows the Windows Settings 'システム' (System) page. A red box highlights the system specifications table:

プロセッサ:	Intel(R) Core(TM) i5-8250U CPU @ 1.60GHz 1.80 GHz
実装メモリ (RAM):	8.00 GB (7.85 GB 使用可能)
システムの種類:	64 ビット オペレーティングシステム, x64 ベース プロセッサ

Windowsのシステム情報を表示する方法は何通りかあるので、いずれかの方法を選択してください。

(A) 設定を起動し「システム」→「バージョン情報」を選択します。

(B) コントロールパネルを開き「システム」を選択します。

(C) Explorerなどに表示される「PC」を右クリックし「プロパティ(R)」を選択します。

システム情報が表示されたら、Windowsのバージョンとシステムの種類をご確認下さい。

PSIM Ver12  
インストールマニュアル

---

発行 : Mywayプラス株式会社  
〒220-0022  
神奈川県横浜市西区花咲町6-145  
横浜花咲ビル  
TEL. 045-548-8836  
FAX. 045-548-8832

ホームページ : <https://www.myway.co.jp>  
Eメール : [sales@myway.co.jp](mailto:sales@myway.co.jp)

---